

通信実施計画書

事業者名： 株式会社 暖暖

研修期間： 4ヵ月

1 添削指導

(1) 添削責任者

講師番号	氏名	担当する科目・項目名	講師要件	専兼の別	新規・継続の別	備考
1	深名 俊之	2 介護における尊厳の保持・自立支援 ① ② 3 介護の基本 ①②③④ 4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 ①②③ 5 介護におけるコミュニケーション技術①② 6 老人の理解 ①② 7 認知症の理解 ①②③④ 8 障害の理解 ①②③ 9 こころとからだのしくみと生活支援技術①②④⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫	ア	兼務	継続	
2	深名 美幸	9 こころとからだのしくみと生活支援技術 ③ ⑤	カ	兼務	継続	

(2) 課題作成者

講師番号	氏名	担当する科目・項目名	講師要件	専兼の別	新規・継続の別	備考
1	深名 俊之	2 介護における尊厳の保持・自立支援 ① ② 3 介護の基本 ①②③④ 4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 ①②③ 5 介護におけるコミュニケーション技術①② 6 老人の理解 ①② 7 認知症の理解 ①②③④ 8 障害の理解 ①②③	ア	兼務	継続	

		9 ところとからだのしくみと生活支援技術①②④⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫				
2	深名 美幸	9 ところとからだのしくみと生活支援技術 ② ⑤	カ	兼務	継続	

(3) 添削指導の進め方（具体的な課題の配布方法・時期、提出方法、評価方法等）

別紙の通り

2 面接指導

(1) 面接指導者

講師番号	氏名	担当する科目・項目名	講師要件	専兼の別	新規・継続の別	備考
		講義において実施する		兼務	継続	

(2) 面接指導時期、指導時間数

指導回	指導時期	担当講師	内容（講義・演習教科名）	時間数
第 回			講義において実施する	時間
第 回				時間
第 回				時間
第 回				時間
第 回				時間
				計 時間

注1 「担当する科目・項目名」欄には、カリキュラム（別紙様式4）に記載した科目名あるいは項目名を記載すること。科目又は項目名を特定せず面接指導を行う場合、2の（1）「担当する科目・項目名」、（2）「内容（講義・演習教科名）」には、当該面接指導で取り扱う内容について記載すること。

注2 「講師要件」「新規・継続の別」「専兼の別」「講師番号」欄には、講師一覧（別紙様式5の1）と同一の

内容を記載すること。

注3 1の(3)「添削指導の進め方」には、課題の配布方法・時期、提出方法、評価方法等について、具体的な流れに沿って記載すること(別紙にて添付可)。

別紙

(3) 添削指導の進め方（具体的な課題の配布方法・時期、提出方法、評価方法等）

通信学習実施計画書

- 1 講義を通信の方法によって行う地域
八代市・八代郡・宇城市・宇土市

2 添削指導の方法

・自宅学習期間の質問方法

質問は、郵便・電話、FAX および電子メールによるものとする。

添削担当講師：別紙様式 8、添削責任者を参照

住所：〒869-4203 熊本県八代市鏡町鏡 553-4

電話番号：0965-43-8007（受付時間：午前 9 時～午後 5 時）

FAX 番号：0965-43-8007

メールアドレス：info@day-dandan.com

3 科目別通信学習時間

科目番号・科目名	通信学習時間	通信形式で実施 できる上限時間 (別紙様式 4 より)
(2) 介護における尊厳の保持・自立支援	7.5 時間	7.5 時間
(3) 介護の基本	3 時間	3 時間
(4) 介護・福祉サービスの理解と医療の連携	7.5 時間	7.5 時間
(5) 介護におけるコミュニケーション技術	3 時間	3 時間
(6) 老化の理解	3 時間	3 時間
(7) 認知症の理解	3 時間	3 時間
(8) 障がいの理解	1.5 時間	1.5 時間
(9) こころとからだのしくみと生活支援技術	12 時間	12 時間

4 通信学習課題配布・提出標準日程

添削課題は 4 回に分けて配布する。

なお、第 1 回目の配布日は開講式の日到手渡す。第 2 回目から 4 回目の配布は、以下の通り。

提出日は期限厳守とする。

課題出題日		課題提出日
第 1 回	令和 6 年 2 月 13 日	令和 6 年 2 月 16 日
第 2 回	令和 6 年 2 月 16 日	令和 6 年 2 月 20 日
第 3 回	令和 6 年 2 月 20 日	令和 6 年 2 月 23 日
第 4 回	令和 6 年 2 月 23 日	令和 6 年 3 月 22 日

5 通信学習課題（第1回～第4回）

① 出題形式 一問一答式、事例問題など

② 出題範囲

第1回 出題数 20問

出題科目番号・科目名	問題数
2 介護における尊厳の保持・自立支援	一問一答 25問
3 介護の基本	
4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携	

第2回 出題数 20問

出題科目番号・科目名	問題数
5 介護におけるコミュニケーション技術	一問一答 23問
6 老化の理解	
7 認知症の理解	

第3回 出題数 20問

出題科目番号・科目名	問題数
8 障害の理解	一問一答 7問 事例問題 6問

第4回 出題数 20問

出題科目番号・科目名	問題数
9 ころとからだのしくみと生活支援技術	一問一答 21問
Ⅰ 基本知識の学習	
Ⅱ 生活支援技術の講義・演習	
Ⅲ 生活支援技術演習	

6 評価基準

通信添削課題については、A、B、C、Dの4段階評価とし、各科目C以上を合格とします。

A=90点以上 B=80～89点 C=70～79点 D=70点未満

- ・ A（よくテキストを学習でき、優れた理解ができている）
- ・ B（不足のない理解はできているが今後も自己学習に期待したい）
- ・ C（やや不足はあるも合格基準に達する理解はできている）
- ・ D（理解に不足があり再学習が必要）

基準を満たさなかった場合は、再評価を実施するため、別途添削課題を配布する。

なお、再提出日は、手渡してから10日以内とする。